

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アイフリーク

コード番号 3845 URL <http://www.i-freek.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 永田 万里子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理グループ長

(氏名) 猪俣 英夫

TEL 092-738-3800

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	739	△32.9	△164	—	△168	—	△175	—
24年3月期第2四半期	1,102	—	△132	—	△123	—	△82	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △178百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △118百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△1,762.81	—
24年3月期第2四半期	△947.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	1,613	940	58.0	9,192.85
24年3月期	1,740	958	54.2	10,624.65

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 936百万円 24年3月期 943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	250.00	—	150.00	400.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,642	△19.2	△386	—	△396	—	△481	—	△4,822.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	101,894 株	24年3月期	91,452 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3 株	24年3月期	2,668 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	99,734 株	24年3月期2Q	87,390 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として、景気は緩やかに持ち直しておりますが、欧州債務危機の影響や長期化する円高の進行及び消費税増税問題など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ（当社及び連結子会社）の関連するモバイル業界は、日本国内にとどまらず、世界規模でのスマートフォンの普及が拡大しており、世界規模でのサービスの展開や、サービス領域の拡大などスマートフォン向けサービスの可能性が拡大しております。

このような環境下におきまして、当社グループは、①スマートフォン市場での収益基盤の構築 ②Eコマース事業のモデルチェンジ ③プラットフォームビジネスへの転換 ④世界規模でのモバイルマーケットへの進出を最重点課題として取り組んでおりますが、フィーチャーフォンからスマートフォンへのシフトが進むなか、世界規模でのサービスの展開やプラットフォームサービスの提供を行うことにより、着実にスマートフォンサービスでの会員数は増加していますが、安定した収益基盤の構築まで至っていない状況です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は739,185千円（前年同期比32.9%減）、営業損失は164,182千円（前年同期は132,127千円の営業損失）、経常損失は168,602千円（前年同期は123,388千円の経常損失）、四半期純損失は175,813千円（前年同期は82,759千円の四半期純損失）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

① モバイルコンテンツ事業

モバイルコンテンツ事業では、当社主力事業の一つであるデコメ分野において、収益拡大のため、iPhone向け無料メールアプリ「スグデコ!Mail」内のデコメ販売ストア「DecoSTORE」を7月にリニューアルオープンしました。また、auスマートパスにデコメサイト「デココレ」の提供を開始し、新たな収益基盤として強化を図っております。

2012年6月に全世界にリリースした、写真アプリ「photodeco」においては、引続き順調にダウンロード数を伸ばしており、リリース2ヶ月で全世界累計10万ダウンロード数を突破しております。

電子絵本アプリ「こえほん」においては、よしもとパパ芸人が子どもたちに作った「パパコ絵本」の独占配信を行うなど、こちらも、引続きダウンロード数を伸ばしており、B2Bモデルでのアライアンスなど、新たな収益基盤として貢献が期待できます。

自社独自の顧客基盤を目指した、位置情報を利用したファストアプリに特化したプラットフォーム「cocoGe」では、産学連携によるゲームアプリの企画開発を実施することにより、収益化のための量産体制の取り組みとしての礎を築くことができました。

海外へのビジネス展開を視野に入れたプロモーションとしては、韓国光州広域市で開催された「Gwangju ACE Fair 2012」に、スマートフォン向けに展開する自社サービス「cocoGe」、「photodeco」、「こえほん」の韓国版「SoriwaYiyagi(ソリワイヤギ)」等を出展し、好評を博しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におけるモバイルコンテンツ事業の売上高は508,037千円（前年同期比22.5%減）、セグメント利益は116,709千円（前年同期比10.5%減）となりました。

② Eコマース事業

Eコマース事業では、薬事法・景品表示法の運用規制強化やスマートフォン及びソーシャルメディアの拡大による消費スタイルの変化によって、新たなサービス競争が激しさを増しており、収益基盤再構築が急務となっており、当社オリジナル商品の開発による商品力強化に向けた取り組みなど、引続き大幅なモデルチェンジを図っております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におけるEコマース事業の売上高は231,056千円（前年同期比48.3%減）、セグメント損失は96,383千円（前年同期は108,983千円のセグメント損失）となりました。

③ 決済サービス事業

決済サービス事業では、本年8月より当社の一部サービスに試験的に導入し開始いたしております。サービス開始間もないこともあり、収益貢献は来期以降を予定しており、先行投資としての費用が発生しております。なお、当第2四半期連結会計期間より、第1四半期において「その他」事業としていた「決済サービス事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における決済サービス事業の売上高は91千円、セグメント損失は19,680千円となりました。

（注）各社の社名、製品名、サービス名は各社の商標又は登録商標です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて86,672千円(7.1%)減少し、1,141,630千円となりました。これは主として、有価証券の増加125,511千円、商品及び原材料の増加16,628千円、現金及び預金の減少217,504千円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて48,500千円(9.5%)減少し、463,588千円となりました。これは主として、無形固定資産の増加28,830千円、投資その他の資産の減少71,915千円によるものであります。

繰延資産は、第1四半期連結会計期間に社債を発行したことによる社債発行費の計上により、8,746千円となりました。

以上の結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて126,426千円(7.3%)減少し、1,613,966千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて245,090千円(46.0%)減少し、287,793千円となりました。これは主として、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の返済225,121千円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて136,352千円(54.8%)増加し、385,220千円となりました。これは主として、社債の発行による増加200,000千円によるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて108,737千円(13.9%)減少し、673,014千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて17,688千円(1.8%)減少し、940,951千円となりました。これは主として、新株予約権の行使による資本金の増加73,539千円、資本剰余金の増加80,264千円、四半期純損失の計上等により利益剰余金が189,130千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、当第2四半期連結累計期間の期首に比べて217,498千円減少し、512,899千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、144,471千円(前年同四半期連結累計期間は123,749千円の支出)となりました。これは主として、売上債権の減少額19,630千円により資金が増加した一方、たな卸資産の増加額29,692千円、未払金の減少額11,662千円、税金等調整前四半期純損失として160,493千円を計上したことによります。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、142,959千円(前年同四半期連結累計期間は261,927千円の支出)となりました。これは主として、有価証券の償還による収入194,495千円、投資有価証券の売却による収入106,214千円があった一方、有価証券の取得による支出322,955千円、無形固定資産の取得による支出83,105千円、投資有価証券の取得による支出39,914千円によるものであります。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、71,626千円(前年同四半期連結累計期間は101,671千円の収入)となりました。これは主として、社債の発行による収入190,281千円、ストックオプションの行使による収入181,379千円があった一方、短期借入金の純増減額197,705千円、長期借入金の返済による支出88,828千円、配当金の支払額11,664千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、平成25年3月期第2四半期連結累計期間の業績を鑑み、直前の公表予想値（平成24年5月15日公表）を次のとおり修正し、平成24年11月9日に公表しております。

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	3,111	0	0	0	0円15銭
今回修正 (B)	1,642	△386	△396	△481	△4,822円83銭
増減額 (B - A)	△1,469	△386	△396	△481	—
増減率 (%)	△47.2	—	—	—	—
(ご参考) 平成24年3月期実績	2,033	△374	△366	△407	△4,657円28銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用して計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	710,359	492,854
売掛金	342,253	322,609
有価証券	85,716	211,227
商品	45,736	50,428
仕掛品	1,867	14,931
原材料	3,103	15,039
その他	55,938	44,980
貸倒引当金	△16,670	△10,441
流動資産合計	1,228,303	1,141,630
固定資産		
有形固定資産	29,695	24,280
無形固定資産		
のれん	44,953	34,346
ソフトウェア	166,596	174,808
その他	10,763	41,987
無形固定資産合計	222,312	251,142
投資その他の資産	260,081	188,165
固定資産合計	512,089	463,588
繰延資産	—	8,746
資産合計	1,740,392	1,613,966
負債の部		
流動負債		
買掛金	69,460	55,196
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	160,130	135,009
ポイント引当金	4,247	1,869
その他	99,046	95,719
流動負債合計	532,884	287,793
固定負債		
社債	—	200,000
長期借入金	240,839	177,132
資産除去債務	6,553	6,613
その他	1,475	1,475
固定負債合計	248,867	385,220
負債合計	781,752	673,014

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,382	532,922
資本剰余金	452,663	532,927
利益剰余金	71,797	△117,333
自己株式	△30,937	△34
株主資本合計	952,905	948,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,675	△5,798
為替換算調整勘定	△931	△6,014
その他の包括利益累計額合計	△9,607	△11,813
新株予約権	15,342	4,283
純資産合計	958,640	940,951
負債純資産合計	1,740,392	1,613,966

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,102,222	739,185
売上原価	673,655	446,425
売上総利益	428,566	292,760
販売費及び一般管理費	560,694	456,942
営業損失(△)	△132,127	△164,182
営業外収益		
受取利息	5,343	5,545
受取配当金	4,885	289
有価証券売却益	—	831
その他	506	1,255
営業外収益合計	10,735	7,921
営業外費用		
支払利息	1,821	2,873
投資有価証券売却損	—	2,088
社債発行費償却	—	971
為替差損	—	5,530
その他	175	877
営業外費用合計	1,996	12,341
経常損失(△)	△123,388	△168,602
特別利益		
新株予約権戻入益	—	8,109
特別利益合計	—	8,109
特別損失		
特別退職金	1,905	—
事務所移転費用	1,225	—
その他	500	—
特別損失合計	3,631	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△127,019	△160,493
法人税等	△44,260	15,319
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△82,759	△175,813
四半期純損失(△)	△82,759	△175,813

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△82,759	△175,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,793	2,876
為替換算調整勘定	△9,784	△5,082
その他の包括利益合計	△35,577	△2,206
四半期包括利益	△118,337	△178,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△118,337	△178,019

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△127,019	△160,493
減価償却費	56,758	51,252
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	2,088
社債発行費償却	—	971
新株予約権戻入益	—	△8,109
のれん償却額	8,081	10,606
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,016	△6,229
売上債権の増減額 (△は増加)	138,077	19,630
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△35,152	△29,692
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,658	△13,653
未払金の増減額 (△は減少)	△32,707	△11,662
その他	△49,311	1,261
小計	△44,947	△144,029
法人税等の支払額	△78,802	△442
営業活動によるキャッシュ・フロー	△123,749	△144,471
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△200,000	△322,955
有価証券の償還による収入	110,000	194,495
有形固定資産の取得による支出	△5,758	—
無形固定資産の取得による支出	△24,853	△83,105
投資有価証券の取得による支出	△71,841	△39,914
投資有価証券の売却による収入	—	106,214
貸付けによる支出	—	△5,000
事業譲受による支出	△68,921	—
その他	△552	7,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261,927	△142,959
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△197,705
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△70,560	△88,828
社債の発行による収入	—	190,281
配当金の支払額	△25,904	△11,664
ストックオプションの行使による収入	—	181,379
その他	△1,864	△1,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	101,671	71,626
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,544	△1,693
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△292,550	△217,498
現金及び現金同等物の期首残高	723,250	730,397
現金及び現金同等物の四半期末残高	430,700	512,899

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

新株予約権の行使により、当第2四半期連結累計期間において資本金が73,539千円、資本剰余金が80,264千円増加し、自己株式が30,903千円減少しました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が532,922千円、資本剰余金が532,927千円、自己株式が34千円となっております。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	モバイルコン テンツ事業	Eコマース 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	655,593	446,629	1,102,222	—	1,102,222
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	655,593	446,629	1,102,222	—	1,102,222
セグメント利益又は損失 (△)	130,342	△108,983	21,358	△153,486	△132,127

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

「Eコマース事業」において、取引先拡充及び収益力強化を目的として、平成23年4月26日付で株式会社ストラップヤネクストと事業譲渡等契約及び平成23年6月30日付で株式会社スパイアとウェブサイト譲渡等契約を締結いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては55,560千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	モバイルコン テンツ事業	Eコマース 事業	決済サービ ス事業			
売上高						
外部顧客への売上高	508,037	231,056	91	739,185	—	739,185
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	508,037	231,056	91	739,185	—	739,185
セグメント利益又は 損失(△)	116,709	△96,383	△19,680	645	△164,827	△164,182

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（減価償却方法の変更）

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の各セグメント利益又は損失に与える影響はありません。

（報告セグメントの追加）

当第2四半期連結会計期間より、第1四半期において「その他」事業としていた「決済サービス事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、決済サービス事業は当事業年度より開始したため、前年同期比に及ぼす影響はありません。

3. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

該当事項はありません。